

プロテオミクス遺伝学

Proteome Genetics

2単位 (選択) 1年 (通年), 2年 (通年), 3年 (通年)

蛭名 洋介 (授業責任者)・教授 / プロテオミクス医学専攻 生体応答医学講座, 湯浅 智之・准教授 / プロテオミクス医学専攻 生体応答医学講座

内山 圭司・准教授 / プロテオミクス医学専攻 生体応答医学講座, 長屋 寿雄・助教 / プロテオミクス医学専攻 生体応答医学講座

【授業目的】糖尿病を例に取り、プロテオミクス遺伝学を修得し、先端的研究を理解する。

【授業概要】インスリンホルモンを中心にプロテオミクス解析し、分子間相互作用の解析技術を用いた細胞内シグナル伝達のメカニズムの解析と、その破綻によって起こる糖尿病について最新の知見を含めて体系的に解決するとともに、発生工学を用いた糖尿病モデルマウスの構築とその解析についても講義する。

【履修上の注意】e-learning 学習は扱っていない

【授業計画】

	大項目	中項目	担当
1.	授業ガイダンス+プロテオミクス遺伝学序論		蛭名
2.	遺伝子工学論 1	遺伝子工学総論	〃
3.	遺伝子工学論 2	遺伝子工学基礎技術論	〃
4.	遺伝子工学論 3	遺伝子工学特論	〃
5.	細胞生物学論 1	細胞内情報伝達総論	〃
6.	細胞生物学論 2	インスリン情報伝達論	〃
7.	細胞生物学論 3	インスリン情報伝達とインスリン作用	〃
8.	分子生物学論 1	分子生物学総論	〃
9.	分子生物学論 2	分子生物学技術論	〃
10.	分子生物学論 3	分子生物学特論	〃
11.	プロテオミクス分子遺伝学解析法 1		〃
12.	プロテオミクス分子遺伝学解析法 2		〃
13.	プロテオミクス分子遺伝学解析法 3		〃
14.	パイオインフォマティクス総論		〃
15.	パイオインフォマティクス各論		〃

【成績評価】出席状況・実習態度・レポート等により評価する。

【授業コンテンツ】<http://cms.db.tokushima-u.ac.jp/cgi-bin/toURL?EID=217571>

【連絡先】

⇒ 蛭名 (088-633-7436, iden@ier.tokushima-u.ac.jp) MAIL (オフィスアワー: 水曜日の16:00~17:30 (e-mailにより時間調節を行います。))

⇒ 他の教員についても,e-mailにて時間調節の上,面談してください。

【備考】視聴覚設備を最大限利用し、わかりやすい講義を行う